

取組名称	日テレ「こどもウイーク」～いっしょにつくる、ミライ～			団体設立後の経過年数	3年目
応募取組主体名称	日本テレビ放送網株式会社 報道局	活動地域	地上波放送・本社社屋でのイベント等	応募取組の活動年数	3年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

「こどもウイーク」は、日本テレビが夏に展開する全社的キャンペーンです。報道局を中心にニュース・情報・バラエティ・スポーツなどが連携し、子どもの声や視点を社会に発信。環境や平和といった普遍的課題を“じぶんごと”として考える機会を提供し、次世代の持続可能な未来づくりにつなげています。さらに汐留での体験型イベント「汐留サマースクール」とも連動し放送とリアル双方で参加できる共創プラットフォームとして発展しています。

実績の要旨

2023年の開始以来、放送やイベントを通じて子どもの声を社会に広げ、社会的関心を高めてきました。2024年は「こどもの好奇心」をテーマに学びを深め、2025年は戦後80年にあわせ「戦争とこども」を展開。「戦争をおこさないためにいまできること」に全国から1,600件近い声が寄せられました。「汐留サマースクール」による地域の教育機関や企業と連携した体験型イベントでは、子どもと大人が共に環境・平和を考える場を創出。持続可能な社会づくりへと広がる実践につながっています。

取組評価の要旨	環境への貢献	子どもが環境や平和を“じぶんごと”化し、未来世代が「地球を守る」という持続可能性への意識を育んでいます。
	社会・経済への貢献	「こども基本法」の理念に基づき、子どもが主体的に意見を表明し、大人と社会課題を共有する仕組みと意義を発信しています。
	地域資源の活用	「汐留サマースクール」で地域の教育機関や企業と連携し、学びや発見を子どもたちに提供しています。
	普及・汎用性	放送とデジタル、イベントを融合させ、教育現場や家庭・地域を巻き込み、全国展開可能な普遍的モデルを形成しています。
	革新・ユニーク性	報道局を中心に、子どもを中軸にした発信を番組横断で実現し、子どもと社会を繋ぐ公共性と双方向性を兼ね備えた独自のモデルです。
	継続性	2023年始動以来、毎年テーマを深化。持続可能な未来をめざす独自の取組として、社会に定着し広がり続けています。

展望の要旨

常にその時々社会課題をとらえ、キャンペーンを通じて子どもの生活環境改善と虐待ゼロ社会に寄与していきたい。